

令和4年度 都立農芸高等学校全日制課程 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立農芸高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、主幹教諭(進路指導主任)、農場主任 主幹教諭(2学年主任) 計8名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
東京都馬術連盟理事長（大学コーチ兼任）、PTA会長、学校薬剤師、井荻中学校長、三谷小学校長、今川町信和会会長、杉並区みどり公園課長 計7名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年6月21日（火曜）内部委員7名、協議委員6名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和4年10月18日（火曜）コロナ禍で紙面開催。
これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、本校の現状と課題等説明、
意見交換学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和5年3月2日（木曜）内部委員4名、協議委員4名
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年6月21日（火曜）内部委員7名、協議委員1名
評価委員の選出、今年度の学校評価の実施に向けた検討
学校評価の基本方針の確認
 - 第2回 令和4年10月18日（火曜）コロナ禍の影響で紙面開催。
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第3回 令和5年3月2日（木曜）内部委員4名、協議委員1名
評価報告書（原案）の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：394人 回収：311人 回収率：78.9%
 - ・12月 保護者全員 対象：392人 回収：70人 回収率：17.9%
 - ・12月 地域・住民 対象：40人 回収：10人 回収率：25.0%
 - ・12月 教職員 対象：54人 回収：35人 回収率：64.8%※コロナ禍のため、アンケート回収を促すことができなかった。
- (2) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・生徒保護者ともに授業はわかりやすく(86%、82%)、農業に関する知識や技術が確実に身に付いている(94%、95%)と感じている。また本校で学ぶことに満足している。(84%、88%)。おおむね本校の教員の授業について満足している。
 - ・生徒保護者共にルールやマナーをしっかりと守っていると感じている。(75%、7

5%)昨年度より5ポイント下がっている。

- ・生徒保護者は、自分の進路について考える機会が多く用意されている。(86%、83%)となり、生徒からより支持を得ている。
- ・地域の方々は、本校の教育内容について、馬術の存在は90%以上の方に知っていたが、教育内容についてはあまり知らない方が多い。

(3) 評価結果の分析・考察(校長や学校全般への意見・提言)

- ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。また、心身の健康を向上させる取り組みを積極的に取り入れるべきである
- ・地域や小中学校との交流を進めるとともに農芸高校の教育内容を知っていただくためにホームページやツイッターなどをさらに活用した活動を行うべきである。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題(学校の自己評価へ反映)

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・地域や小中学校との交流する機会を増やし、教育内容を広く知っていただく取組が必要であると認識できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・近隣の住民は、教育内容をより一層知りたいと望んでいることが分かった。
- ・より適正な評価を行うためには、協議委員や地域に対して、もっと情報提供すべきである。

5 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 4人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4						

7 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。